

展示物の有効活用をはかり魅力を最大限に伝える手立て

～展示順路の在り方を通して～

宮崎科学技術館
展示係長 谷口 亜衣

【要 約】

宮崎科学技術館（以下、当館とする）には、1、2階が常設展示室であり、約100点の展示物を備えている。観覧のための順路は設けておらず、来館者が自由に展示室を見学できるようになっている。展示物のテーマや来館者のニーズに応じた順路を設けることで、より有意義に当館を利用いただけるのではないかと考えた。そこで、来館者に好きな展示物をアンケートで回答していただき、人気の展示物をまわる順路を作成することにした。アンケートの結果と展示物のテーマやゾーンをもとにして、「家族向け」「カップル向け」「幼児向け」の3種類の順路の作成を行った。

はじめに

今、当館には「順路」という意図的な導線は設けておらず、来館者は、1階と2階の展示室を自由に見学している。初めて来館した方に展示室内は、どこから回ればいいのかと尋ねられることも多い。そこで、来館者層や年齢に応じて、展示室のおすすめのコースなどを作成する。そのコースを巡ることで、当館に初めて来た方でも、テーマやゾーン分けされた当館の展示室内を十分に楽しむことができるものとする。また何度も来館されたことがある方にとっても、設定されたさまざまなコースを巡ることで、新しい発見や今までとは違う楽しみ方で展示室を見学できるようにし、学びがあり、魅力ある館をつくることを目的に順路を作成した。

第1章 研究方法

第1節 アンケート調査

2019年8月1日から11月30日の4ヶ月間、正面玄関にアンケートを設置した。多くの意見をいただくために、アンケートの内容は「①年齢②誰と来たのか（家族・カップル・夫婦・一人・その他）③楽しかった展示物」の3つにだけにし、できるだけ簡単に回答できるようにした。4ヶ月間で265枚の回答を得ることができた。

図1 アンケート用紙

宮崎科学技術館 アンケート

おしえてください！
あなたのすきなでんじぶつ！

①年齢をおしえてください。
・子ども（ 歳） ・大人（ 歳）

②どなたと来館しましたか？
家族・カップル・夫婦・一人 その他（ ）

③一番楽しかった展示物は何ですか？
（ ）

※お名前、ご年齢は任意です。アンケートは匿名で実施いたします。
このアンケート情報は展示物のアンケートボックス、もしくは、お近くのスタッフにお渡しください。

第2節 アンケート結果

今回集まった265枚のアンケート結果には、友達、カップル、夫婦、1人で来館した方からのアンケートの枚数は少なく、家族で来館したという子どもの回答が多かった。アンケート結果は右記の通りである。やはり、自分でボタンを押して動き出す「コスモ博士」や体験型の展示物である「あそびのトンネル」「シャボンリング」が上位にあることが見てとれる。

その他の意見の中で、「?」「全部」といった順路に反映できない回答も多くあった。

第3節 アンケートの検証

楽しかった展示物名を記述してもらった内容のアンケートだったこともあり、読み書きができるようになった小学校低学年の子どもが多く答えてくれていた。そのため、友達同士で来ている子どもと家族で来ている子どもの年齢にあまり差がなく、「家族」と「友達」の違いを見つけるためのデータを得ることが難しかった。しかし、カップルで来館した大人の方に関しては回答数は多くなかったが、「家族」や「友達」から得た回答結果との違いがあることを読み取れた。

また、当館の展示物の目玉でもある「月面着陸船イーグル号」「きく5号」と回答が1票もなかったことが印象的であり、ショックでもあった。「家族」や「友達」での子どもからの回答の上位にあるのは、体を使って体験できる展示物ばかりで、“見る展示物”については、ほとんど印象に残っていないことが分かった。職員の思う魅力ある展示物が、うまく伝わっていないこともここで明らかになった。

第2章 具体的方策

第1節 「家族向け」順路の決定

アンケートで回答数が最も多かった家族向けの順路を作成することにした。また、第2節でも述べたように、「家族」と「友達」の意見の違いを見出すことが難しかったため、今回は「友達」で来館された方の意見を「家族」で来館された方の意見に含めて考察することにした。

回答にあったすべての展示物を順路に含めると、展示室の見学に時間が多くかかるため、1、2階の

表1 (家族) 楽しかった展示物ランキング

	展示物名	票数
1位	コスモ博士	12
2位	あそびのトンネル	10
3位	シャボンリング	8
4位	コスモベース	6
4位	発見の木	6
4位	あるいてさわって	6
4位	スペースシップシミュレーター	6
5位	エネルギーサーカス	5
5位	シャトルタワー	5
6位	パソコン	4
7位	フライングプロペラ	3
8位	たつまき・コロオリのボウリングなど他5点	2
9位	宇宙メダカ・音のしぶきなど他11点	1
※1	プラネタリウム	38
※2	イベント関係	18
※3	その他	54
	総数	184

※1) ※2) 1・2階の展示物についての調査のため「プラネタリウム」「イベント関係」の回答については順位に入れないこととする。
※3) その他には、「全部」「?」などの回答を含む。

表2 (友達) 楽しかった展示物ランキング

	展示物名	票数
1位	パソコン	3
2位	コスモベース	2
2位	シャボンリング	2
2位	コスモ博士	2
2位	スペースシップシミュレーター	2
3位	あそびのトンネル	1
3位	発見の木	1
3位	シャトルタワー	1
3位	フライングプロペラ	1
3位	光のしらべ	1
※1	プラネタリウム	9
※2	その他	6
	総数	31

※1) 1・2階の展示物についての調査のため「プラネタリウム」の回答については順位に入れないこととする。
※2) その他には、「全部」「?」などの回答を含む。

表3 (カップル) 楽しかった展示物ランキング

	展示物名	票数
1位	コスモ博士	1
1位	バラボラアンテナ	1
1位	てこ実験装置	1
1位	ジェミニカプセル	1
※1	プラネタリウム	1
※2	イベント関係	1
※3	その他	2
	総数	8

※1) ※2) 1・2階の展示物についての調査のため「プラネタリウム」「イベント関係」の回答については順位に入れないこととする。
※3) その他には、「全部」「?」などの回答を含む。

展示室を1時間程度で回れる内容にすることにした。楽しかった展示物について、家族向け・友達向けの回答の中には、1票や2票のものが多かったため、3票以上の展示物についてだけを順路の中を含むことにした。また、3階のプラネタリウムが印象に残っている方も多いので展示室内を無駄なく回り、最後に3階に上られるような順に並び替えることにする。

第2節 「幼児向け」の順路の決定

今回、アンケートが記述式であったこともあり、文字の読み書きが難しい未就学児に関する意見を得ることができなかった。家族向けや友達向けの順路の中に含まれる展示物は、幼児には少し難しい内容のものも含まれている。しかし、当館の来館者層が低年齢化していること、プラネタリウムでは、幼児向けのイベントも多いこと等を考慮すると、未就学児が楽しめる順路の作成も必要ではないかと判断した。

家族で来館した子どもが回答した好きな展示物の中で、未就学児でも楽しめる展示物「シャボンリング」「発見の木」「あるいてさわって」を順路に盛り込んだ。さらに、回答には出てこなかったが「ミラーハウス」「ベルヌーイの球」を盛り込んだ。「ミラーハウス」は、中が滑り台のようになっていることもあり、まだ歩けないような小さな子どもも楽しんでいる姿をよく見かける。「ベルヌーイの球」は、プカプカ浮かぶボールとお子様を写真撮影する方も多い。また、当館には、6歳までが利用できるキッズコーナーがある。そこは、保護者の方も座って休憩できるコーナーでもある。これらを順路に組み立てて、幼児向けの順路を作成した。

第3節 「カップル向け」順路の決定

カップルで来館した方からの回答数は少なかったが、回答内容は「家族」や「友達」とは違ったので、カップル向けについても作成することにした。カップル向けについては、回答で出た展示物について、すべて順路に入れることにした。しかし、それだけに限ると、展示物数が少なすぎるので、普段来館しているカップルがよく利用する「3Dプラネットシアター」、「ガスマジック」の2つの展示物を盛り込み、隣接する公園や池が見える景色のいい場所での休憩スポットを追加し、順路を作成した。

第3章 実践に向けて

順路の作成まで至ったが、来館者へ配布または掲示して、研究成果の検証には至らなかった。今後、

図2 家族向け順路



1) 順路を一部抜粋したもの

図3 幼児向け順路



1) 順路を一部抜粋したもの

図4 カップル向け順路



1) 順路を一部抜粋したもの

どのようにして今回作成した順路を配布、掲示していくかを検討していく必要がある。

閑散期は、インフォメーションでの順路の紹介や手渡しも可能だが、繁忙期は、チケット購入に列ができることもあり、なかなかそれが難しい。チケット購入時の導線上に順路を設置または掲示する方法がある。また、1階のコスモ博士やコスモベースなど、来館者が立ち止まりやすい場所に設置し、目に触れる環境づくりを検討していきたい。

また、当館の目玉である「月面着陸船イーグル号」が、今回のアンケート結果ではランキングに入っていなかった。中でも子どもにとっては、“見る展示物”を楽しめたとは思えないのかもしれない。世界に2台しかないこの魅力ある展示物をうまく来館者へ伝えていく必要があると感じる。これは、この「イーグル号」だけに限ったことではない。そこで、当館スタッフが来館者に見てほしい展示物の順路を作成することが大事であるとする。その順路を巡ることで、来館者が気づかなかった展示物の魅力を知るきっかけになるのではないかと思う。

おわりに

来館者が選ぶ楽しかった展示物のアンケートをもとに、「家族向け」「カップル向け」「幼児向け」の3種類の順路の作成を行った。しかし、まだ順路の配布や掲示までは至っておらず、順路に沿って観覧することで、来館者が戸惑うことなく有意義に見学ができるのかという、来館者の様子や声を聞くことができていない。

今後、今回作成した3種類の順路（「家族向け」「幼児向け」「カップル向け」）を設置し、活用した来館者の声を聞き、反応や様子を見ていくことが必要である。また、他館の順路の在り方も検証しながら、「学びのコース」「スタッフが選ぶ 展示物を巡るコース」など順路の種類も増やし、リピーターも当館を楽しめる順路を作成していきたい。